

財務4表の概要

①貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点（出納整理期間中の増減を含む。）において、市の資産とその資産をどのような財産（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産、右側に負債及び資産と負債の差額である純資産を計上しています。

【資産の内訳】

市の所有している全ての資産を表示しています。

- ・事業用資産は、当該資産から将来的な経済便益が発生すると想定されるもの。
（例）庁舎、保育園、学校、福祉センター、備品等
- ・インフラ資産は、将来にわたる都市基盤と想定されるもの。
（例）道路、公園、上下水道等
- ・金融資産は、現金またはすぐに現金化が可能な資産。

【負債の内訳】

将来的な支払義務を生じさせる地方債や退職手当引当金の金額は、貸借対照表の負債として表示されます。

地方債は、資産形成のために発行するものが多く、貸借対照表上で地方債の発行額と資産の金額を対比させることで、市の資産形成がどの程度借金で賄われたかが明らかになります。

退職手当引当金は、在職する全職員が全て退職した場合に支払うこととなる退職手当要支給額を負債として計上しています。

②行政コスト計算書

市の経常的な活動（行政サービス）に要したコストとサービスに係る財源（使用料・手数料等）を示すことで、どのようなサービスにどれだけのコストがかかっているか、また、どのような財源で行われているか把握できます。

従来の会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。

経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

③純資産変動計算書

市の純資産（資産から負債を引いた残余）が一会計期間にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示するものです。

④資金収支計算書

現金の流れを示すものであり、その収支を性質に応じて、経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支などと区分して表示することで、本巢市がどのような活動に資金を必要としているのかを表示するものであります。